

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	日常生活活動学-①		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 水3-4	教室名	機能訓練室、木工室、403号室
担当教員	オムニバス (大島、石橋、本家、杉田)	実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント基礎研修修了。			
《授業科目における学習内容》						
<p>作業療法士は生活の専門家と言っても過言ではない。対象者の作業・課題遂行上の問題を明確化・解釈して原因を推察していく一連の臨床思考過程には、ヒトの身体・運動機能の理解、運動・動作の分析的視点、異常運動を見極める観察眼やその原因を分析する思考力が必要であり、運動学的知識だけでなく状況判断・意思決定のための高次脳機能の理解が必須となる。本科目ではその基本的部分が理解できるよう、生活についてICFを通して考え、特に活動面(能力)の評価や観察による分析評価、介護と治療的介入の違いなどについて講義・実技・演習を通して学習していく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題70%、筆記試験26%、平常点(準備、態度)4%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>■教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学[第2版]、配布資料 ■参考書：動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>基本的に次の通り。 【事前学習】課題・学習内容の確認。 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題がある場合には課題を実施。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>・次回学習内容に予め目を通しておくこと。・課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。 ・服装や身だしなみに関してはジャージ又はKCとする。忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①ADLについて説明できる。②APDLについて説明できる。③ADLと障害について説明できる。④ADL制限に対するOTについて説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	ADLとは、APDLとは、ADL制限に対するOT ADLやAPDLとは何か学習し、ADLを支援する上で重要な視点を学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑤ADLの評価について説明できる。⑥身体介助について、介護と治療的介入の違いを説明できる。⑦観察と記録の意義について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(60分)	
	講義形式	各コマにおける授業予定	ADL評価、身体介助(介護と治療的介入の違い)、観察と記録 ADLを評価するとはどういうことか、ADL制限のある対象者を支援するとはどういうことか、OTの介入について考える。また、観察と記録の意義について再確認する。			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)	
	講義実習形式	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作① 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)	
	講義実習形式	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作② 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(45分)	
	講義実習形式	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作③ 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。			

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作④ 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第7回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作⑤ 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第8回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑧床上動作、起居・基本動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	床上動作、起居・基本動作⑥ 床上動作、起居・基本動作について再確認し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第9回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑨移乗の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	移乗(ベッドサイド、トイレ)① 移乗(ベッドサイド、トイレ)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第10回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑨移乗の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	移乗(ベッドサイド、トイレ)② 移乗(ベッドサイド、トイレ)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑨移乗の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	移乗(浴室、車)① 移乗(浴室、車)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑨移乗の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	移乗(浴室、車)② 移乗(浴室、車)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑩移動の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	移動(車椅子駆動、歩行、段差・階段昇降)① 移移動(車椅子駆動、歩行、段差・階段昇降)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑩移動の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	移動(車椅子駆動、歩行、段差・階段昇降)② 移動(車椅子駆動、歩行、段差・階段昇降)について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑪食事の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	ADL(食事) 食事について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	日常生活活動学-②		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 水3-4	教室名	機能訓練室、木工室、403号室
担当教員	オムニバス (大島、石橋、本家、杉田)	実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント基礎研修修了。			
《授業科目における学習内容》 作業療法士は生活の専門家と言っても過言ではない。対象者の作業・課題遂行上の問題を明確化・解釈して原因を推察していく一連の臨床思考過程には、ヒトの身体・運動機能の理解、運動・動作の分析的視点、異常運動を見極める観察眼やその原因を分析する思考力が必要であり、運動学的知識だけでなく状況判断・意思決定のための高次脳機能の理解が必須となる。本科目ではその基本的部分が理解できるよう、生活についてICFを通して考え、特に活動面(能力)の評価や観察による分析評価、介護と治療的介入の違いなどについて講義・実技・演習を通して学習していく。						
《成績評価の方法と基準》 レポート課題70%、筆記試験26%、平常点(準備、態度)4%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ■教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学[第2版]、配布資料 ■参考書：動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料						
《授業外における学習方法》 基本的に次の通り。 【事前学習】課題・学習内容の確認。 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題がある場合には課題を実施。						
《履修に当たっての留意点》 ・次回学習内容に予め目を通しておくこと。 ・課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。 ・服装や身だしなみに関してはジャージ又はKCとする。忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑪食事の評価と支援について説明できる。		教科書、配布資料	【事後学習】レポート課題。(60分)	
	各コマにおける授業予定	ADL(食事) 食事について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。				
第17回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑫整容の評価と支援について説明できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)	
	各コマにおける授業予定	ADL(整容) 整容について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。				
第18回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑬整容の評価と支援について説明できる。		教科書、配布資料	【事後学習】レポート課題。(60分)	
	各コマにおける授業予定	ADL(整容) 整容について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。				
第19回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑭清拭の評価と支援について説明できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)	
	各コマにおける授業予定	ADL(更衣) 更衣について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。				
第20回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑮更衣の評価と支援について説明できる。		教科書、配布資料	【事後学習】レポート課題。(60分)	
	各コマにおける授業予定	ADL(更衣) 更衣について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑭更衣の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(5分) 次回学習内容に予め目を通しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。レポート課題。(45分)
	各コマにおける授業予定	ADL(清拭) 清拭について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第22回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑮トイレ動作の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料	【事後学習】レポート課題。(60分)
	各コマにおける授業予定	ADL(トイレ動作) トイレ動作について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第23回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑯入浴の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	ADL(入浴) 入浴について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第24回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	⑯入浴の評価と支援について説明できる。	教科書、配布資料	【事後学習】レポート課題。(60分) 【ADLまとめ】ADL自立順序(難易度)について考察するレポート課題。(60分) →第26回の授業後に提出
	各コマにおける授業予定	ADL(入浴) 入浴について学習し、観察と遂行支援による評価実習を行う。		
第25回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑰代表的なADL評価について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	代表的なADL評価(BI、FIMなど)① 代表的なADL評価の一例としてBI、FIMなどについて学習する。		
第26回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑰代表的なADL評価について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	代表的なADL評価(BI、FIMなど)② 代表的なADL評価の一例としてBI、FIMなどについて学習する。		
第27回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑰代表的なADL評価について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	代表的なADL評価(BI、FIMなど)③ 代表的なADL評価の一例としてBI、FIMなどについて学習する。		
第28回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑱活動・参加面の他の評価方法について説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	他の活動・参加の評価 FAI、老研式活動能力指標、IADL、COPMなどについて学習する。		
第29回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑲運動とプロセス技能評価(AMPS)について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	観察評価の視点 運動とプロセス技能評価(AMPS)について学習する。		
第30回	講義形式 授業を通じての到達目標	⑳社会的交流技能の評価について説明できる。	教科書、配布資料(本家)	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	他の観察評価の視点 社会的交流技能(ESI、ACISなど)について学習する。		